

# 高等学校第3学年普通科Bコース 英語科学習指導案

日時 平成24年7月9日(月)

指導者 教諭 菊池 文

## 1 単元名 Lesson 11 Water from the Heavens

Surfing English Reading New Edition(文英堂)

## 2 単元について

### (1) ねらいについて

世界遺産に指定されている自然遺産の中でも見応えのある巨大な滝「エンジェル・フォール」を題材としている。世界最大の落差の雄大な滝の様子を読者に想像させるインフォーマティブな内容である。進路を考えながら、様々なことに思いを巡らせて思い悩む3年生にとって、視野が狭くなりがちなこの時期にこそ、視野を広く世界に向けることは大切なことであると考え。この課をとおして、自然遺産の雄大さを感じとり、広い物の考え方や見方の養成の一助となればと願っている。

### (2) 生徒の実態について

※ 省略

### (3) 指導にあたって

- ワークシートを配布し活用。
- 書かれた文字を読み、聞いた語句を文字に書く場面を取り入れる。
- ペアワーク活動と一斉活動を音読の場面で取り入れる。

#### ICT活用のポイント

##### ①教師の活用

- ・導入の課題提示において、生徒の写真や本文の題材の写真を日本語と英語で説明しながら提示し、本時の課題に対して興味を持つようにする。

##### ②文法学習での活用

- ・パターンプラクティスを用いることで、インプットを増やしスピーディーな発話をさせるようにする

### 3 単元の目標

世界最大の落差の滝についての知識を読み取り、滝のある壮大な情景を頭に思い浮かべることができる。また比較級を用いた倍数の表現と、There is(are) A --ing という現在分詞の後置修飾の表現について学ぶ。

### 4 単元の評価規準

ア コミュニケーションに関心を持ち、積極的に英語で発言し、主体的に課題に取り組むことができる。（関心・意欲・態度）

イ 本文の内容を十分に理解しその内容をワークシートに表現することができる。（表現）

ウ 現在分詞の後置修飾を用いた表現を運用することができる。（知識・理解）

### 5 指導計画及び評価基準（5時間取扱い）

イントロダクションおよび英単語の意味調べ	1 時間
本文前半	1 時間（本時）
本文後半	1 時間
内容理解および新出文法の理解	1 時間
まとめおよび練習問題	1 時間

### 6 本時の展開

- (1) 目標
- ア 本文の内容を理解する
  - イ 現在分詞の後置修飾を用いた表現を使って英文を作ることができる。

#### (2) 展開

過程	学習活動・内容等	指導上の留意点・評価	備考 ICT 活用
導入	1 挨拶。 2 月日・曜日・天気を言う。 3 写真を見て、教師の説明を聞き、質問に答える。	2 教師が例を示し発言を促す。 3 英語を聞いて理解できるよう、ヒントやジェスチャーで理解を助け生徒の発言を促す。	パソコン TV
分	4 ターゲットルールと読み取りのポイントを知る。	4 日本語で話す。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> <p>・評価【関心・意欲・態度】 基準ア コミュニケーションに関心を持ち、積極的に英語で発言している。(行動観察・発言)</p> </div>			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> <p>ターゲットルール：There is a river running across the top of the Devil's Mountain. 読み取りポイント：エンジェルフォールはどのような滝か。</p> </div>			

展 開 40 分	5	一斉音読で新出単語を発音し、ペアワークで音読練習をする。	5	発音に留意させ、ペアワークを机間巡視で支援する。	新出単語の句のフラッシュカード
				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・評価【関心・意欲・態度】</p> <p>基準ア コミュニケーションに関心を持ち、積極的に英語で発言し、主体的に課題に取り組むことができる。(行動観察・発言)</p> </div>	
	6	学習シートへ本文を記入する。	6	学習シートの配布と日本語での指示を出す。	
				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・評価【表現】</p> <p>基準イ 本文の内容を学習シートに表現できる。(学習シート)</p> </div>	
	7	本文を聞いた後、本文の一斉音読をする。	7	読み方を示しながら、声をしっかり出すよう促す。	CD
	8	和訳の空欄に適語を記入する。	8	机間指導をしながら活動内容を日本語で指示する。同時に理解度を確認する。	
	9	読み取りポイントに答える。	9	シートに答えを記入するよう促す。	
	10	There is(are)を含む構文と現在分詞の後置修飾用法を思い出し、それらを合わせた英文を日本語訳する。	10	プレゼンテーションソフトで例文を示す。	
				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・評価【表現】</p> <p>基準イ 本文の内容を十分に理解しその内容を学習シートに表現できる。(発言・学習シ</p> </div>	
	11	構文を使って英作文し発表する。	11	英作文に挑戦するよう励ます。	
				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・評価【知識・理解】</p> <p>基準ウ 現在分詞の後置修飾を用いた表現を運用できる。(発言・学習シート)</p> </div>	
終 末 2 分	12	まとめと予告を聞く。	12	学習内容の確認と使いの予告をし、ワークシートを回収する。	

